

焼物皿

1枚

- 【粘土】 赤2土
- 【重さ】 900g
- 【手法】 タタラ作り 8 mm
- 【装飾】 火櫨ボタモチ



四角くなるよう中央から四隅に向かってたたく。

上下にカヤを準備し、左右に8mmのタタラ板をセットしてローラーでのす。

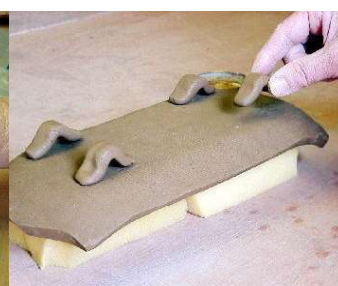
上のカヤをはずし新聞紙をのせる。



板を置き、板ごとひっくり返す。

好みで縁を切ってもよい。

カヤをあてて縁を持ち上げる。

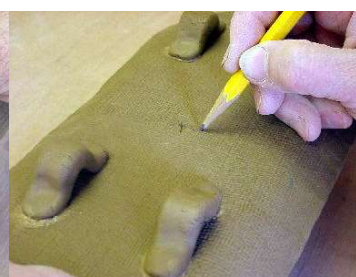
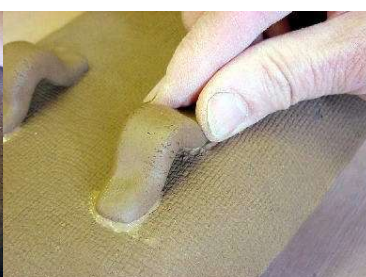
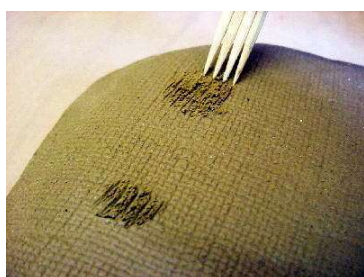


半乾燥させる。

半乾燥後、足にする粘土を1個 12~15g用意。

好きな足の形を作る。

接着する位置を確認。

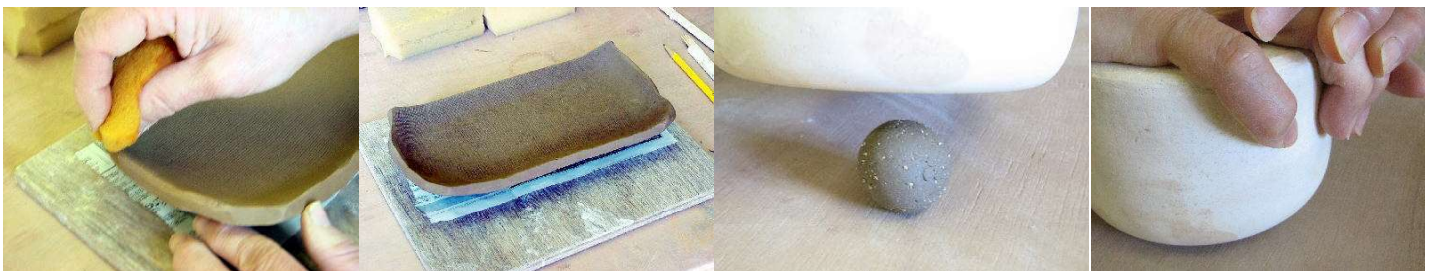


接着面にキズをつける。

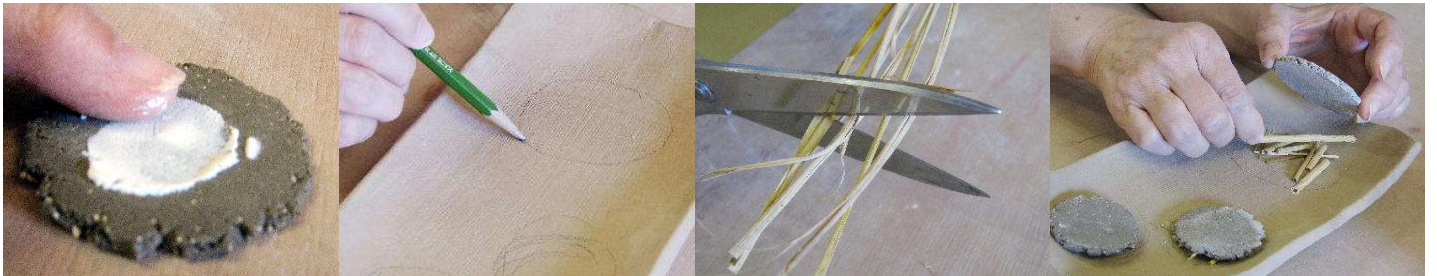
ドベをぬり、すり合わせて接着する。

サインをする。

安定するように軽く上から力を加える。



縁をスポンジで整え 乾燥後、素焼。 道具土を石膏型で押さえボタモチを作る。



アルミナ粉を付ける。あたりを付ける。 藁を切る。 藁がはみ出すようにボタモチをのせる。



エアガンをノズルにセット。 緑のレバーを縦に、圧力0.2。 スイッチオン。 イラボ釉をフルイで漉して霧吹に。



エアガンを霧吹にセットし、吹きかける。 スポンジで掃除。作品は酸化の棚へ。

ワンポイントアドバイス

もし古いカヤがありましたら、陶芸にお使い下さい。古い物だと手紡ぎの生地で、現在の布では出せない風合いの布目が作れます。麻、帆布、木綿など、身近な物で色々試して下さい。